

このたび、2020 年 9 月 12 日・13 日に、春季・秋季合同大会、および総会がオンライン開催にて行われました。新型コロナ禍の下、前例のない開催形態となりましたが、会員の皆様のご協力により、滞りなく終えることができました。あらためて感謝申し上げます。

なお、大会のオンライン開催に伴い、会員の皆様にご協力をお願いしたいことがあります。皆様の目に留まるように、会報の冒頭に記させていただきます。

1. 会費の納入について

このたびの大会では、通常とは異なり、来場者から受付で年会費を徴収することができませんでした。他方、本学会の会計支出において大きな割合を占める学会誌関係の支払いは、9 月に行わねばなりません。そのため、この支払い後の学会会計は、順調に会費の徴収ができないと、手持ち金の枯渇の危機に瀕することになります。つきましては、学会誌に同封する振替用紙にて、会費納入（年会費 4000 円）をただちにお済ませくださいますよう、お願い申し上げます。振込先は以下の通りです（郵便局備え付けの用紙にこれを記入し、振り込んでいただいても結構です）。

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046

加入者名：日仏哲学会

2. オンライン大会に関するアンケートについて

新型コロナ感染状況についての先行きが不透明な中、次回の大会もオンライン開催を余儀なくされる可能性もあります。また、終息後も、そうした形での学会活動の可能性について、適切に評価し、有効に活用できる仕組みを作っていくことができればとも考えています。つきましては、今回のオンライン大会についての感想やご意見、ご提案等を、事務局までメールまたは郵送でお寄せください。今後に向けて参考にさせていただきます。送付先は以下の通りです。

日仏哲学会事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

☆ 総会での審議・議決事項について

総会での審議・議決事項は以下の通りです。

- 1) 昨年度決算、今年度予算について、下記（別紙資料 1）の通り承認された。
- 2) 今年度の事業計画について、下記（別紙資料 2）の通り承認された。
（昨年度の事業報告については、HP および機関誌第 25 号に掲載）
- 3) 第 7 回日仏哲学会若手研究者奨励賞が、西川耕平氏（論文「ドゥルーズのカフカ解釈の変遷とその意義——法にまつわる分析を中心に」）に授与され、表彰式が行われた。
- 4) 学会誌関係の費用の増大により学会財政が構造的な危機に瀕していることを背景に、また、学会誌電子化により開かれる便益と新たな可能性を評価する立場から、理事会より次のような提案がなされた。「冊子体の少数数刊行の保持など必要な工夫を盛り込みつつ、次回の総会での決定を目指して、学会誌電子化の具体的検討に入る。ただし、J-Stage への手続き依頼は、それに要する時間を考慮し、ただちに開始する」。この提案が承認され、ワーキンググループを設置して、検討作業に入ることになった。

☆ 機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募される方は、本年 12 月 31 日までに、下記投稿規定中の編集委員長の e-mail アドレス宛に、PDF ファイルにて完成原稿をお送りください。

『フランス哲学・思想研究』公募論文投稿規定（投稿規定は HP からご覧いただけます）

1. テーマ：フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの。
2. 応募資格：日仏哲学会会員（ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない）。
3. 応募原稿の形式：ワープロソフトによる完全原稿の PDF。和文・仏文を問わず、1 行全角 43 字（半角 86 字）の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて 370 行以内。

注はワープロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号 1)、2)、……をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ（上記設定でタイトルと著者名も含め 12 行以内）を本文とは別のページに付すこと。氏名、住所、

電話番号、E-mail アドレス、生年月日（若手研究者奨励賞対象者確認のため）を記した応募者情報を、別紙の PDF として添付すること。

4. 原稿作成上の注意：欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。
また仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。
5. 原稿応募期間：2020 年 12 月 1 日～31 日、件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者情報)の PDF を添付し、編集委員長宛に送付すること。
6. 原稿送付先：編集委員長宛。

(編集委員長) 合田正人：〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学文学部

E-mail: mg1957@kisc.meiji.ac.jp

審査：掲載の可否は編集委員会で決定し通知する。掲載決定の場合、応募者は指示された期日までに、原稿（論文及び欧文レジュメ）の電子ファイル（PDF ではなく、Microsoft Word バージョン 2000 以上で作成したもの、それ以外の場合は要相談）を添付ファイルとして、メールで編集委員長宛に送付すること。

☆ 書評対象作の推薦について

機関誌『フランス思想・哲学研究』掲載の書評対象作について、会員の皆様からの推薦を受け付けます。締切は 2021 年 1 月 15 日、編集委員長までご連絡下さい。なお、編集委員会で
は、「書評対象作選定の基準」を以下のように定めています。

- ・書評対象として会員が前年度出版した著作を可能なかぎり取り上げる。
- ・書評対象作は編集委員会で決定する。
- ・書評対象として、前年度 1 年間に発行された著作を取り上げるが、それ以前の著作でも漏れていたものを取り上げることは可とする。
- ・会員によるものであっても翻訳書は原則対象外とする。
- ・書評対象作のリストアップのため、会員よりの自薦・他薦を受け付ける。
(自薦の場合は、著書を編集委員長宛に送付することが望ましい。)

☆ 春季大会への一般発表の申し込みについて

2021 年春季大会は 3 月 20 日(土)に早稲田大学(早稲田キャンパス)で開催されます。一般研究発表を公募いたします。発表時間は 25 分(15 分の質疑応答付き)です。

発表希望者は2020年12月31日までに、日本語の場合は1200字以内、フランス語の場合は300mots以内（いずれもタイトル、発表者名、改行に伴う空白を含む）の発表要旨（Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの）を事務局までメールで送付してください。

なおその際には、「応募メールを送った」旨を伝える簡単なく確認メールも別途同時に事務局までお送りください。採否は1月末日までに決定いたします。

★ 会員の皆様へのお知らせとお願い

1. 過去の機関紙掲載論文のHP公開について

2019年の秋季大会にて、『フランス哲学・思想研究』の過去の全号について、PDFを学会HPで順次公開していくという方針が決まりました。つきましては、ご自身の過去の掲載論文について、公開を希望されない方は、号数と論文名を明記の上、2020年12月31日までに、その旨学会事務局（secretariat@sfjp-web.net）までお知らせ下さいますようお願いいたします。

2. 会費納入のお願い

本会報の冒頭に記しました通り、年会費(4000円)の遅滞なき納入をお願いいたします。
(なお、3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。)

3. メールアドレスご登録のお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様には、「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている、メール送付に切り替えていただける方は、下記事務局までご一報下さい。今回のようにオンライン大会になりますと、どうしてもメールでの一斉連絡が必要になります。ぜひご登録下さいますようお願いいたします。

【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

【資料1】2019年度決算、2020年度予算について

2019年度（2019年9月1日～2020年8月31日）

2019年度予算

収入	
会員会費	1,500,000
雑収入	50,000
（単年度収入	1,550,000）
前年度繰越金	1,369,556
計)	2,919,556円

支出	
大会費	200,000
事務局費	300,000
通信費・送料	160,000
機関誌刊行費	860,000
若手研究者奨励賞	30,000
（単年度支出	1,550,000）
次年度繰越金	1,369,556
計)	2,919,556円

2019年度決算

収入	
会員会費	1,148,040
雑収入（注1）	6,000
（単年度収入	1,154,040）
前年度繰越金	1,369,556
計)	2,523,596円
（注1）雑収入内訳	
機関誌売上	6,000円

支出	
大会費	66,195
事務局費	430,829
通信費・送料	104,805
機関紙刊行費	806,324
若手研究者奨励賞	30,000
（単年度支出	1,438,153）
次年度繰越金	1,085,443
計)	2,523,596円

繰越金内訳	
振替貯金	1,010,803円
現金	74,640円

2) 2020年度（2020年9月1日～2021年8月31日）予算

2020年度予算

収入	
会員会費	1,500,000
雑収入	50,000
（単年度収入	1,550,000）
前年度繰越金	1,085,443
計)	2,635,443円

支出	
大会費	200,000
事務局費	460,000
通信費・送料	160,000
機関誌刊行費	700,000
若手研究者奨励賞	30,000
（単年度支出	1,550,000）
次年度繰越金	1,085,443
計)	2,635,443円

【資料 2】2019 年度事業計画

- ① 2020 年 9 月 12 日・13 日 春季・秋季合同研究大会（オンライン開催）
 - ・一般研究発表：24 名（春季発表予定者 13 名）
 - ・総会
 - ・シンポジウム I（春季）：「第二帝政と哲学者たち」
 - 司会者 村松正隆
 - 提題者 高山裕二、宮代康丈、伊多波宗周
 - 特定質問者 赤羽悠
 - ・シンポジウム II（秋季）：「リズムの哲学：ソヴァネ、ベルクソン、マルティネ」
 - 司会者 平井靖史
 - 提題者： 山下尚一、藤田尚志、小倉拓也
- ② 2021 年 3 月 20 日(土) 春季研究大会（早稲田大学 早稲田キャンパス）
 - ・シンポジウム「資材としての人間の身体：世界規模の感染症拡大の時代における哲学」
（仮題）
 - 司会者：長坂真澄
 - 提題者：渡名喜庸哲、田中祐理子、坂本尚志
- ③ 2021 年 9 月 秋季研究大会（東京都立大学）
 - ・オーガナイザー：西山雄二
- ④ 2021 年 9 月 機関誌 26 号発行